







入院診療計画書「子宮頸部円錐切除術でご入院の

さんへ」

(病名) (症状) (説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族) 確認サイン

経過 月 日	入院時(手術前日)	手術当日		退院日	
看護目標	最良の状態です手術が受けられる。	術後合併症を起こさず順調に回復できる。		合併症を起こさずに回復できる。	
治療 処置	・身長、体重を測定します。	なし	・術後に尿の管が入ります。	・尿の管を抜きます。 ・膣に入っているガーゼを抜きます。 (ガーゼが入っていない場合もあります。)	・退院前に診察があります。 診察の結果で退院が決まります。
手術	□無・■有(術式: 子宮頸部円錐切除術)				
検査	・採血をします。 	なし	なし	なし	・検査時は前もって説明いたします。
薬剤 服薬指導	・日頃から飲んでいる薬、副作用、アレルギーがあればお知らせ下さい。	・朝から点滴をします。	・抗生剤などの点滴があります。	・点滴は減量になります。	
全身管理 症状	・体温、脈拍は朝2回測定します。 ・血圧は朝1回、必要時は適宜測定します。	・体温、脈拍、血圧は6時、10時、病棟を出る前に測定します。	・体温、脈拍、血圧は適宜測定します。 状態が酸素吸入をします。		・体温、脈拍、血圧を測定します。 異常出血などなければ退院可能となります。
食事 食事指導	・特別な栄養管理の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無 ・必要に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。 ・普通食(合併症がある方は治療食が出る場合があります。)	・0時以降食べることができません。(うがいはできます。) ・朝6時までは水・お茶が飲めます。 ・飲水は帰宅後6時間後より行うことができます。 		・朝から普通食(または合併症がある方の場合は治療食)が始まります。	
安静度	・制限はありません。 	・手術室へは歩いてまたは車椅子で行きます。	・寝返りはできません。 ・ベッド上で過ごします。 ・ベッド横に座ることができます。	・尿の管が抜けた後は制限ありません。初回歩行時は看護師が付き添いますので、必ずナースコールでお知らせ下さい。 	
清潔	・シャワー浴ができます(3回/週)。 	・シャワー浴	・手術前に手術衣に着替えます。	・術後1日目退院の場合は更衣のみ行います。 自宅でシャワーができます。	
患者・家族 への説明	・主治医が入院診療計画、手術、麻酔について説明いたします。 ・看護師が病棟を案内し入院生活について又、転倒転落予防策について説明いたします。 ・検査によっては入院前に行なう場合があります。 ・治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。	・看護師が手術前後の流れについて説明をいたします。 ・手術依頼書の提出をお願いします。 ・手術必要物品を確認いたします。	・手術中、ご家族の方は4階西病棟デイルームでお待ち下さい。手術が終わりましたらお知らせいたします。	・主治医からご家族へ手術後に説明があります。 	・痛みがある時や気分不良時はお知らせ下さい。 ・膣のガーゼが抜けた後出血に注意して下さい。出血があればお知らせ下さい。 ・主治医から退院の説明、看護師より退院後の生活、注意事項について説明があります。 退院が決まりましたら前日には概算をお知らせいたします。 ・診断書が必要な場合は1階に受付カウンターがあります。

※ 症状により、予定と異なる場合があります。わからないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名